

乱馬墮らんま
の
あなざー



片耳豚
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



女化を治す手段を知っている
という触れ込みの仙人の元を
訪ねた乱馬だったが

好色な仙人は目をつけられ
治療と称したエロ行為を
受ける羽目に――。

疑い半分ながらも「方が」
の可能性を考えてしまったため
無抵抗のままねちっこい
指使いで丹念に体を
揉みほぐされていく



「ほんとにこれ……治療と関係
らんまの抗議を指先で封殺
エロ下衆だが流石は仙人。」

惜しげもなく体を任せる
らんまの無自覚な生意気女体。
滅多にないチャンスとばかりに
エロ仙人はまず指先でそれを
味わい尽くす。

指先で感度上昇の秘孔を突きつら
徐々にらんまを追い詰めていく

「ん……あつ——はあ……」
散々に性格に似つかわしくない
双乳を弄ばれ、息も絶え絶えのらんま

一気に墮しては面白くないと
淫術責めを一旦取りやめるエロ仙人。

翌日も施術を続けることを
確約させ、いまだピクリと
波打つ生意気肢体を
こねくり回す。

徐々に抵抗を奪い
自分好きな敏感肉に仕立て上げるべく
翌日のことをお思い
エロ仙人はほくそ笑む。

「おいっ！ 本当はこの格好治療に関係あるんだろっなっ！」
「ってか！ なんてこんなモン持ってんだよっ！」

どう考えても無関係なエロ衣装を身に着けさせられ、しかしここまできては引けないと嫌々ながらも、らんま指示に従う。


視姦を拂らせつつ、ほくそ笑むエロ仙人に、昨日のような醜態は晒すまいと強く誓うらんまだったが

「ひゃあ……あうあうあうあう」
「やめ……ひよ……おとお」
「一旦始められてしまえば、
そこは仙人の独壇場。」

秘穴を突かれつつ、昨日とは
比べものにならない激しさと
快感で、あうさり追い詰められる。

「なんれ……んらに——ああああ」
乳首を舐られ、快感なれしていない
秘所を執拗になぞり上げられ
抵抗もできずに鳴かされてしまう。

淫蕩に仕立て上げられた体を
グタタリと弛緩させ
らんまは成されるがままに
エロ施術を許してしまう。



肉欲に溺れだした格闘娘肉を
更なる淫獄に突き落とすため
仙人のイチモツが、らんまの
媚尻に突き立てられる。

一突きごとに感度を上げられ
身も世もなく嬌声を上げ、
崩れ落ちるらんま。

蹴り突きが終わった頃には
すっかり淫具尻に変えられてしまう。

翌日——。
すっかり尻肉を蕩けさせられ
感乱するらんま——。

頃合と見た仙人は
ついに尻穴の調教に乗り出す。

龟头と尻穴を擦り付け
直接淫熱を送り込まれ、
回だけの抵抗で尻穴陥落を
拒むらんまだったたが——。

仙人は悪辣に焦らしながら
じつくりと尻穴を屈服させるべく
クチユクチユと音を立て
責め立てる。

「もう……もういいからあ……」
「今付けね」今付け……」
「ケツ穴あ自由にしていいいからあ……」
「こんなの我慢できるわけ……ねえからあ」

半日ばかりで、遂に屈服したエロケツ穴！。
搦めとりに成功した仙人は、
らんま自身の口からチンポをねだらせ
ケツ穴を完全に差し出させることに
成功する。

ここぞとばかりに突き立てられる
エロ仙人チンポ！。
らんまは己のケツ穴が
完全にこの男の淫具に
なったことを悟った。

一度随ちてしまえば後はなし崩し。
一晩中ケツ穴をほじくり返され、
さんざんにおもちゃにされて
屈服アグメを叩き込まれる。

しばらくはこの家におまかるように
えぐりながら説得され、
らんまは頷いてしまう。

こんな下物を簡単に手放すものかと、
仙火の秘技を尽くした連続射撃で
尻穴に己の臭いを覚えこませる
肛略マニア仙人。

その後、らんまのケツ穴の具合の良さに、昼夜となく性交を続けた結果、仙人まさかの腹上死。

なんとか脱出することに成功したらんまだったが、ケツ穴は完全に雌堕ち。

しばらくは排泄のたびに絶頂してしまい、二度と仙人的な毛人には頼るまいと心に誓うのだった。



奥付

発行：片耳豚

発行日：2013.12.31

印刷：自前